

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2017年 4月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991



ボランティアとして集まった若い力



感謝にありがとうございますの文字

「感謝」の思い光に込めて

3.11なとり・関上追悼イベント

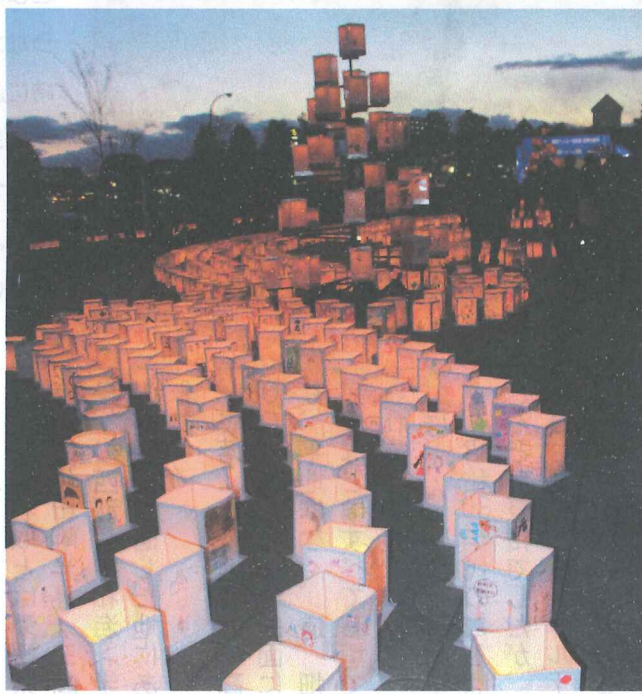
絵灯籠やキャンドルをともし、東日本大震災で犠牲になられた方々を追悼する「3・11なとり・関上追悼イベント2017」(主催・なとり復興プロジェクト)が3月11日、名取市役所前

市民広場で開催されました。当日はあいにくの、強風が吹く天気の中、集まったボランティアの皆さんが紙で出来た絵灯籠を風にあおられながら設置準備に追わ

れる姿がありました。準備の途中、震災当日、関上への津波到達時間となった15時53分に合わせ作業を中断し関上の方角を向き黙とうをささげました。



開会のあいさつをする佐々木さん



市民広場前の光景



関上の方角に向い黙とうをささげる



力強い関上太鼓

実行委員長の佐々木悠輔さんのあいさつに続き、山田市長をはじめ学生ボランティアらによる点灯式が行われ、その後ボランティアや一般の方々により一斉に灯籠に火がともされました。

2017年のテーマは「感謝」。夕方になると絵灯籠に描いた感謝の文字が優しい光とともに浮び上りました。

イベントでは、胸躍らせる関上太鼓や、優しくトラペットを奏でた東北大学友会吹奏楽部、元気に演技した名取こどもミュージカルなどのステージが会場を盛り上げました。

実行委員の武田雄さんは「今日も若い世代の方々がボランティアとして参加してくれている、年々イベントのレベルもアップしています。私たちの気持ちや思いを若い世代に託して行きたい」と話してくれました。(畠山)



キャンドルに浮び上る関上の文字



東北大学友会吹奏楽部の皆さん



実行委員の武田さん



点灯する子どもたち

名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く

菓房 たこうや

食感もちもち笑顔咲く

名取市増田にある老舗「菓房たこうや」は昭和5年に開業しました。2代目店主の板橋勲さん(75)は、もちとあんに自信を持つとても気さくな人で、常連客からも親しまれています。

たこうやが目指しているのは笑顔づくり。「和菓子を通してお客様に笑顔届けたい。お菓子を食えるときは皆、笑顔になりますよね」と板橋さんも笑顔で話してくれました。

たこうやで一番の人気商品は宝来餅(ほうらいもち)。名取市耕谷産のもち米で作られた皮と自家製のはんは相性抜群。宝来餅は2種類あり白はこしあんではつづあんになっています。表面には氷餅がまぶしてあり、白く輝いています。実際に食べてみると、とても柔らかく、あんは甘すぎず何個でも食べたくなりました。

3月まで発売していた、いちご大福「莓いちへ」も絶品でした。大きないちごと練乳が練りこまれたあんにびっくり。「いちごミルクのような大福」と板橋さんが言う通り、口に入れた時に広がる甘みと酸味が絶妙なバランスで、いちごミルクのような優しい味わいでした。

昔ながらの伝統を守りつつ、現代和菓子を作る。板橋さんの和菓子に対する熱意を感じました。一度食べたなら和菓子のイメージが変わりますので、ぜひご賞味下さい。(高橋諒子)

「いちごミルク」のようないちご大福「莓いちへ」。記者もいただきました



絶品の宝来餅。こしあんの白とつづあんの赤があり、縁起物としても喜ばれています

菓房 たこうや

宮城県名取市増田2-3-7 022-382-3121

なるほど名取

伊予の名取

皆さんは、「伊予の名取」(愛媛県西宇和郡伊方町名取)をご存じでしょうか? その伊予の名取と名取市の交流を深めていこうという市民団体「二つの名取を結ぶ会」がおとし発足し活動しています。

●伊予の名取へ
昨年は、名取市から16人の会員が伊予の名取を訪れ、双方の住民が対面し、記念に津波のあと閉上で採取した松かさから取った種を育てたクロマツを植樹しました。

伊予の名取とは愛媛県の西端の佐田岬半島(三崎半島)の西部、宇和海(半島の南側)に面した地にあります。

代表の大橋信彦さん(73)は「6年前の東日本大震災で伊方町名取の住民から名取市に義援金を頂いたことを知ったのがきっかけ。お互いの名取の歴史を学び交流を継続して行きたい」と話してくれました。

集落(住宅地)は標高100〜200mの斜面にあり、平地はなく、道、畑、家屋などはすべて石垣で守られています。

?伊達秀宗?
伊達政宗の長子として生まれながら豊臣から徳川の世に代わる時代の背景により、伊達家を継げず初代の宇和島藩10万石の藩主として入国した。秀宗の秀は秀吉の秀を賜る。妻は井伊直政の娘。

ほとんどの柑橘農家です。昭和30年代のころはほとんどが夏柑でしたが、その後甘夏柑、サンフルーツなど次々に新たな品種が作付けされ、現在はポンカン、デコポン、清見タンゴールなど少しずつ収穫時期の異なる柑橘栽培がおこなわれています。

伊予の名取の歴史は今をさかのぼる事402年前、仙台藩祖・伊達政宗公の長子・秀宗公の宇和島藩お国入りに同行した軍夫が軍馬の飼育と宇和海の警固の為に当地に定住し、軍夫らが名取の出身であったことによるとされています。

伊予の名取の歴史は今をさかのぼる事402年前、仙台藩祖・伊達政宗公の長子・秀宗公の宇和島藩お国入りに同行した軍夫が軍馬の飼育と宇和海の警固の為に当地に定住し、軍夫らが名取の出身であったことによるとされています。



宇和島城天守閣



「ハナモモ記者が行く名取産食べ隊」にご協力頂いた、菓房たこうやさんから焼き菓子プレゼント!住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んでの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で先まで。5月5日締切。
(住所)
〒980-0022
仙台市青葉区五橋1の10
(FAX)
(227) 8333
「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp